

大分市立王子中学校 学力向上プラン1

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	<p>1 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の定着 ・自らの考えを理論立てて伝える力 ・活用力を問う問題 <p>2 授業改善の検証指標に照らし合わせて評価した状況</p> <p>王子中学学習スタイルの浸透（校内研究とリンクさせた、1時間完結型の授業の徹底）させ、生徒が思考力を整理できるようにする。また、考えをしっかりと持ちそれを伝える力をつけさせる。（無回答を減らす）</p>	<p>1 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小集団活動における「学び合う力」の向上 ・小集団活動におけるリーダーの育成

指導の状況	<p>1 組織的な授業改善の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践力のある生徒を育成するために、活用力をつけるような授業実践を行う。そのために小集団活動（*）を組み入れた学習を全教科で展開していく。授業は「今日の学習」をはじめとする4枚のプレートの活用及びユニバーサルデザインを意識した「本時の流れ」を活用し、思考の整理ができる授業展開を目指す。 （*）小集団活動を活発化するために、毎日の短学活で1日の反省を班ごとに行ったり、大きな行事の前には学活の時間を特設し、「ダイヤモンドランキング」等の班⇒学級で考えさせる取り組みをたくさん組み入れることで、「協力する心」の育成、「実践力のある生徒」の育成に取り組んでいく。 <p>2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の習慣を身につけさせるために、自学ノートの取り組みは月別学習表を配布して教科指定をしたり教科ごとに準備した貼り付けプリントで適宜復習をさせたりするページと、生徒自身が考えて取り組むページにわけて行う。また、授業、朝自習とリンクさせた学習に取り組む。 ・授業で取り組んでいる内容や最低限身につけさせたい基礎的な内容をプリントにまとめて配布したり教科書で設定したりすることで自学ノートを取り組みやすく工夫。家庭学習の内容をさらに翌日の朝自習で再復習。ひと月単位で家庭学習検定を行ったり、定期テストの範囲に入れたりして、学習内容を浸透させる工夫を行っていく。状況は学年通信や学級懇談会などを通して、家庭と協働して力をつけさせていく。
--------------	--

学力に関する達成指標	<p>王子中学学習スタイルの浸透させた1時間完結型の授業と、家庭学習とリンクさせた学習を仕組んでいくことで、生徒が意欲的に授業に参加し、基礎基本はもとより活用力を身につけたと実感できるようにさせる。</p> <p>（定期テストにおける正答率30%未満の生徒の割合を10%以内）</p>
-------------------	--

	【授業改善】	【家庭・地域との協働】
今後の具体的な取組	<p>（授業改善テーマ） 自ら考え、協力して課題解決することができる生徒の育成</p> <p>（授業改善の重点） 小集団活動におけるリーダーの育成と学び合う力の向上</p>	<p>（達成指標）※必要があれば</p>
	<p>（取組内容）</p> <p>授業における小集団活動の実施</p> <p>活用力をつけるような授業実践を行う。そのために、小集団活動を組み入れた学習を授業内で展開して、話し合いによる思考の交流を図る。また、話し合いのスキルアップのために、「学び合う力」の向上やリーダーの育成に力を入れていく。</p>	<p>（家庭・地域の取組内容）</p> <p>地域との連携</p> <p>学習、生活、体育・保健の3部会による小中合同研修会を実施することで、小中連携の学習スタイルを構築していく。学力向上会議の相互参加により、小中連携の取り組みを推進する。またオープンスクールの実施や学校評議員会を定期的に行うことで、地域との協働を図っていく。</p>
	<p>（取組指標）</p> <p>授業における小集団活動の活用を図る。（実施率85%以上）</p>	<p>（家庭・地域の取組指標）</p> <p>小中合同研修会 年間5回 学力向上会議 年間2回 学校評議員会 年間3回</p>
	<p>【その他の学力向上の取組】</p> <p>□読解力の育成・・・朝自習の時間を利用して、読書の活動を取り入れたり、読みもの資料を読み感想を書くことで、読む・書く力を育成していく。また、「天声人語」を利用し、視写の活動を取り入れていく。この活動で時事力や集中力、語彙力が増えて、表現力や構成力がついていくことが期待できる。家庭学習としても取り入れる。</p> <p>□定期テスト前の補充学習の充実・・・定期テスト範囲発表後、各学年で取り組む。質問教室や小集団活動での教え合い学習等、各学年の実態に応じた方式で実施する。（実施率100%）</p> <p>□課題の工夫・・・週末には各教科より「週末課題」を出すことで、各教科の学習を習慣化させる。また、課題についても、「フォローアップワークシート」や「学習探検ナビ」を活用し、計画的な実施をする。また、自学ノートを取り組みやすくするために、授業で取り組んでいる内容や最低限身につけさせたい基礎的な内容をプリントで設定したり教科書で指定したりする（月別計画表配布）。それを朝自習に取り入れて家庭学習検定を行うことで、学習内容をリンクさせていく。</p>	